

---

# 東京都微生物検査情報

## MONTHLY MICROBIOLOGICAL TESTS REPORT、 TOKYO

---

第40巻 第 8号  
2019年 8月号  
月 報



東京都健康安全研究センター

*<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>*

---

ISSN 1883-2636

## 東京都内の医療機関で分離された 溶血性レンサ球菌感染症患者由来株の血清型別状況(2018年)

東京都における「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」(以下、劇症型)の届出数は、2019年30週現在で78例である。2015年以降増加しており、全国においても同様な傾向が見られている(図)。東京都では、劇症型患者から分離されたβ溶血性レンサ球菌については、協力が得られた医療機関から積極的疫学調査として菌株を確保し、血清型別等の疫学解析を実施している。また、定点把握対象疾患である「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」(以下、咽頭炎)については、感染症発生動向調査事業として病原体定点医療機関の患者検体から*Streptococcus pyogenes*を分離し、同様に調査を実施している。

### 1. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来株の群別及び菌種

2018年に当センターに搬入された劇症型患者由来株79株について、Lancefield分類による群別を実施した。その結果、最も多かったのはG群33株(41.8%)で、次いでA群28株(35.4%)、B群15株(19.0%)、C群2株(2.5%)、F群1株(1.3%)の順であった。

菌種の内訳をみると、A群では27株が*S. pyogenes*、1株が*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*、B群ではすべて*S. agalactiae*、C群及びG群ではいずれも*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis*であった。また、2017年まで見られなかったF群の1株は*S. constellatus*であった(表1)。

### 2. *S. pyogenes* の T 血清型別

収集された*S. pyogenes*についてT血清型を実施した結果を表2に示した。劇症型患者由来株では、1型:9株(33.3%)、12型:5株(18.5%)、B3264型:6株(22.2%)であり、これら3血清型で全体の74%(20株/27株)を占めた。前年と比較すると、1型及び12型は2017年(1型:33.3%、12型:12.5%)と同程度であったが、B3264型は、

2017年(8.3%)に比べ増加していた。

一方、感染症発生動向調査事業で、2018年に咽頭炎患者から分離された*S. pyogenes*127株は、多く見られた順に12型:28株(22.0%)、1型:26株(20.5%)、B3264型:25株(19.7%)であり、これらの3血清型は全体の62.2%(79株/127株)を占め、劇症型患者由来株と同様に分離頻度の高い血清型であった。また、これらの3血清型の分離率は、2017年(12型:25.9%、1型:19.7%、B3264型:16.0%)と比較した結果、差は認められなかった。しかし、4型は7株(5.5%)と2017年(18.5%)に比べ減少し、28型は16株(12.6%)であり、2017年(2.5%)と比較し増加した。

*S. pyogenes*1型及び12型は、劇症型患者由来株、咽頭炎患者由来株ともに例年多く見られる血清型である。また、B3264型は、劇症型患者由来株では2017年には少なかったものの、2016年及び2018年には多く見られた。一方、感染症発生動向調査事業の咽頭炎由来株では2016年以降、B3264型の分離率は増加傾向にある(2016年:11%、2017年:16%、2018年20%)。劇症型患者由来株と咽頭炎患者由来株の関連性はいまだ不明であるが、今後も、型別等により流行を把握・監視していくとともに、さらに詳細な異同を検討して行く必要がある。

### <参考文献>

- 1) 東京都微生物検査情報, 37, 総集編, 22-26, 2016
- 2) 東京都微生物検査情報, 38, 総集編, 26-28, 2017
- 3) 東京都微生物検査情報, 39, 総集編, 26-28, 2018

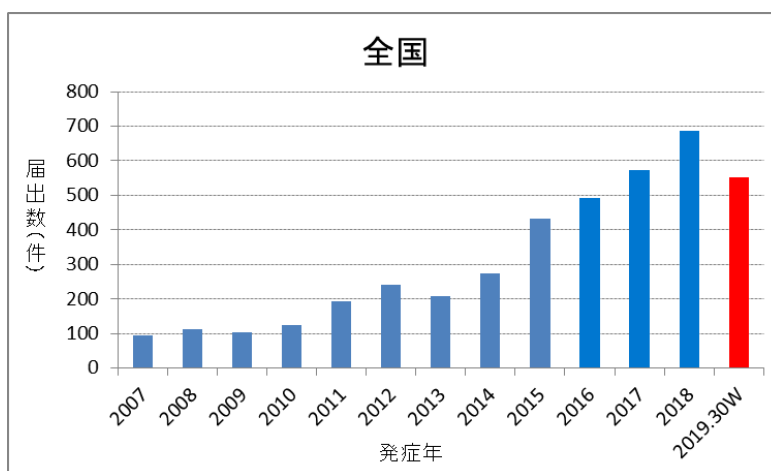
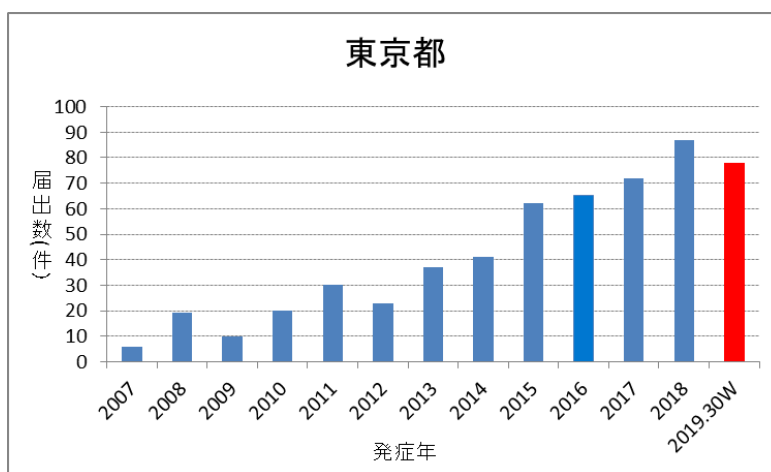
(病原細菌研究科 奥野ルミ)

表 1. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者由来株の群別及び菌種名 (2018 年:東京都)

菌種名	Lancefield 分類 群別					計
	A	B	C	F	G	
<i>S. pyogene</i>	27					27
<i>S. agalactiae</i>		15				15
<i>S. dysgalac</i>	1		2		33	36
<i>S. constellatus</i>				1		1
合計	28	15	2	1	33	79
(%)	(35.4)	(19.0)	(2.5)	(1.3)	(41.8)	(100)

表 2. 劇症型及び咽頭炎由来 A 群レンサ球菌(*S. pyogenes*)T 血清型別 (2018 年:東京都)

由来	血清型													合計
	1	2	3	4	6	9	11	12	14/49	25	28	B3264	型別不能	
劇症型	9					1		5				6	6	27
(%)	(33.3)					(3.7)		(18.5)				(22.2)	(22.2)	(100)
咽頭炎	26	1	3	7	4	1	4	28	1	3	16	25	8	127
(%)	(20.5)	(0.8)	(2.4)	(5.5)	(3.1)	(0.8)	(3.1)	(22.0)	(0.8)	(2.4)	(12.6)	(19.7)	(6.3)	(100)



(東京都感染症週報より作成)

図. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症発生届出数の年次推移

表1 病原体搬入・検出状況(4種等)※

2019年8月分

機関名		コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	腸管出血性大腸菌	結核菌
区	千代田区					1	
	中央区						
	港区					2	
	新宿区					4	10
	文京区					2	
	台東区					1	1
	墨田区					1	
	江東区						1
	品川区					1	
	目黒区					4	
	大田区						4
	世田谷区					5	
	渋谷区						
	中野区					1	
	杉並区					6	
	豊島区						
	北区						
	荒川区						
	板橋区					4	1
	練馬区					1	1
足立区					1		
葛飾区							
江戸川区					5		
市	町田市					1	
	八王子市						1
小 計						40	19
都	西多摩					4	
	多摩立川					1	3
	南多摩						2
	多摩府中					3	
	多摩小平		1			1	
	島しょ						
小 計			1			9	5
合 計			1			49	24
健康安全研究センター 検出分						16	

※2016年4月より、各保健所から搬入された検体を集計することとした。

表2 検体搬入状況(全数把握対象疾患-五類)\*

2019年8月分

	検体数	2019年累計
侵襲性インフルエンザ菌感染症(菌)	9	54
侵襲性髄膜炎菌感染症(菌)		4
侵襲性肺炎球菌感染症(菌)	5	92
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(菌)	4	47
播種性クリプトコックス症(菌)	1	6
合計	19	203

※2016年4月(第37巻・第4号)から追加

表3 病原微生物検出状況(食中毒関連)

2019年8月分

	菌種名	検体数	2019年累計
細菌	大腸菌		
	毒素原性		
	組織侵入性		
	腸管出血性		4
	その他・不明		
	サルモネラ		
	O4	4	7
	O7		4
	O8		8
	O9	1	1
	その他		1
	腸炎ビブリオ		1
	その他のビブリオ		
	カンピロバクター	7	96
	黄色ブドウ球菌	3	13
	A型ウエルシュ菌	16	88
	セレウス菌		
赤痢菌			
エシェリキア・アルベルティイ	2	2	
ウイルス	ノロウイルス(G I)	1	59
	ノロウイルス(G II)	12	485
	ノロウイルス(G I, G II)	1	7
	ロタウイルス		
	サポウイルス	11	21
寄生虫	アニサキス	2	31
	クドア		

表4 HIV 検査数及び陽性数

2019年8月分

	男性		女性		性別不明		合計	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数
東京都南新宿検査・相談室	788	5	279	1	0	0	1,067	6
保健所等	135	2	115	0	0	0	250	2
合計	923	7	394	1	0	0	1,317	8
2019年累計	7,841	69	3,191	3	0	0	11,033	72

表5 性感染症検査数及び陽性数

2019年8月分

	梅毒検査		クラミジア遺伝子検査		淋菌遺伝子検査	
	検査数	陽性	検査数	陽性	検査数	陽性
東京都南新宿検査・相談室	1,034	74	0	0	0	0
保健所等	196	5	178	11	53	0
合計	1,230	79	178	11	53	0
2019年累計	10,411	625	2,496	126	1,632	7

表6 定点把握疾患別病原体分離状況（ウイルス）

過去3ヶ月

定点種別	対象疾患名	検出病原体	6月	7月	8月	合計
小児科	咽頭結膜熱	アデノウイルス	1	4		5
		エンテロウイルス		3	5	8
	手足口病	パレコウイルス	1			1
		単純ヘルペスウイルス		1		1
	RSウイルス感染症	RSウイルス		1	2	3
	ヘルパンギーナ	エンテロウイルス			1	1
	流行性耳下腺炎	ムンプスウイルス			2	2
		エンテロウイルス			2	2
	不明発疹症	アデノウイルス	1		1	2
		エンテロウイルス	1			1
突発性発疹	パレコウイルス		1		1	
	アデノウイルス	1			1	
インフルエンザ	インフルエンザ及びインフルエンザ様疾患 (ILI)	インフルエンザウイルスAH1pdm09	2	2	5	9
		インフルエンザウイルスAH3	2			2
		インフルエンザウイルスB型Victoria系統	3		1	4
		インフルエンザウイルスB型Yamagata系統				
眼科	流行性角結膜炎	アデノウイルス		1		1

◆東京都微生物検査情報◆

2019年 10月 〇〇日

編集・発行

東京都健康安全研究センター

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>